

長野県公立高等学校入学者選抜制度（第二次案）

2022年度選抜より新しい制度がスタートします

- 新しい学習指導要領に即して、学力や多様な資質・能力を伸ばすことにつなげます
- 自分らしく学ぶ高校を選択するために、志望校の特色をわかりやすくします
- 目指す高校への挑戦を応援します



令和元年(2019年)9月10日

長野県教育委員会

学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

1 入学者選抜制度変更のポイント



- 「自分らしく学べる高校」を選択しやすいように、各学校の特色をわかりやすくします。
- みなさんの多様な資質、能力を評価する入学者選抜を実施します。

1 「前期選抜」で「学力検査」を実施します。

- ・中学校までに学習した内容について、「**基礎的な学力**」が身についているか検査します。
- ・学力検査は**5教科200点満点**です。主として選択式、短答式で出題します。

2 前期選抜、後期選抜ともに、各校の「募集の観点」に基づいた「その他の検査」をすべての学校で実施します。

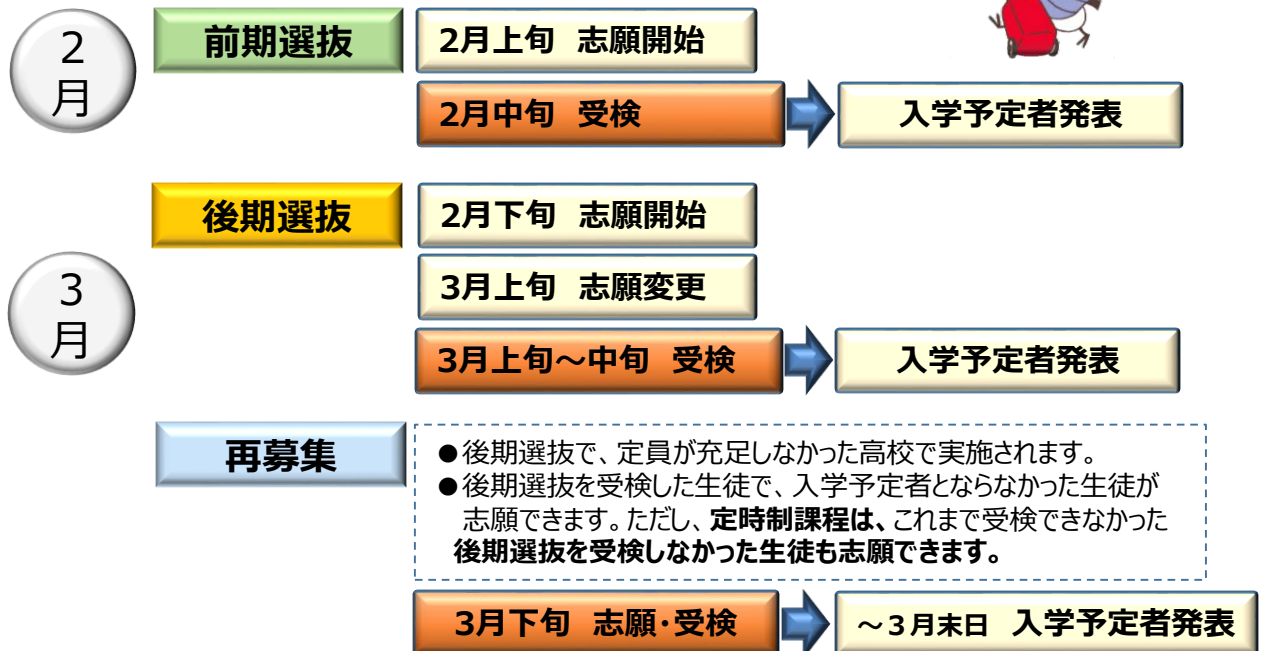
- ・「**その他の検査**」は、面接、プレゼンテーション、グループ討議、実技、小論文、学校独自の検査等です。
- ・調査書の「**特定の項目**」(例 総合的な学習の時間、特別活動等)を「**その他の検査**」とする学校もあります。

3 「前期選抜を実施しない学校」の後期選抜においては、**2種類の選考**を行い、高校を**選択できる幅**を広げます。

- ・**一般選考**に加え、得意を活かせる**得意活用型選考**を実施します。
 - ▶一般選考 **定員の90%以上**
5教科各100点(500点満点) + 調査書9教科の評定 + その他の検査で判定
 - ▶得意活用型選考 **定員の10%以内**
評価に用いる教科、比率等の評価項目を学校独自に設定し判定

4 不登校生等であっても本人が有する資質や能力を多面的に評価するための**説明書**(調査書の付票)を**新たに設け**、更に配慮した選抜にします。

2 入学者選抜の日程



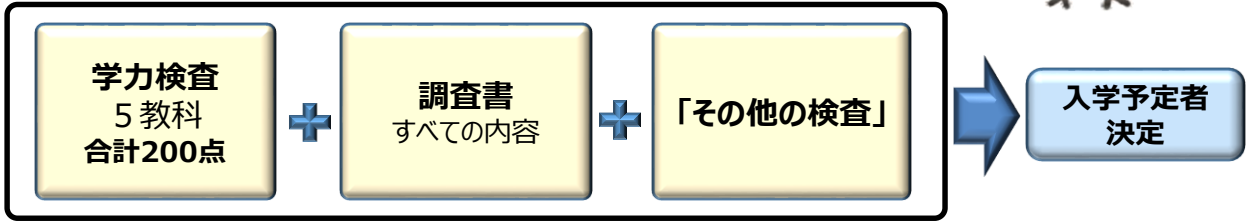
★現行の追加募集は再募集に統合します。また、通信制課程の選抜は選抜要綱で示します。

3 あたらしい入学者選抜制度のしくみ



前期選抜

○募集定員の上限は、特色学科は90%以内、それ以外の学科は60%を上限とします。



★前期選抜で入学予定者となった場合、入学辞退はできません。

※特色学科とは、理数科、探究科、学究科、国際教養科、国際観光科、スポーツ科学科、音楽科をさします。

後期選抜

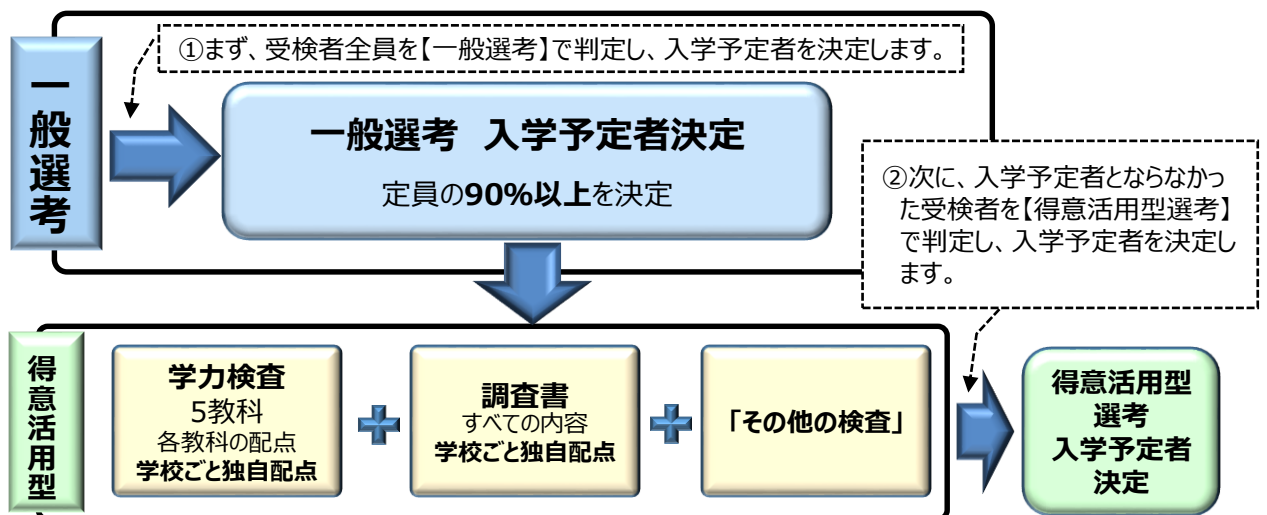
前期選抜を実施する学校

後期選抜は一般選考のみで選抜します。



前期選抜を実施しない学校

後期選抜は、一般選考および得意活用型選考で選抜します。



例 定員280人（志願者300人）、一般選考で90%(252人)、得意活用型選考で10%(28人)を選抜する場合

①一般選考で、252人の入学予定者を決定

②一般選考で入学予定者とならなかった48人を、得意活用型選考で判定し28人を入学予定者に決定



4 あたらしい入学者選抜制度 Q & A

① 前期選抜の学力検査はどのような内容、形式になりますか。

前期選抜の学力検査は、中学校3年生の概ね1月までに学習した内容を基にした5教科の基礎基本を測る問題（5教科 200点満点）です。
詳しい内容は、2020年度中に問題例を公表します。

③ 後期選抜に得意活用型選考を設けた理由は何か。

自分らしく学ぶ学校に挑戦する仕組みとして、中学校で取り組んだ特別活動や得意科目等を活かせる選抜としたものです。

⑤ 英語の4技能評価について、どのように評価するのですか。

「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を適切に評価するために、スピーキングテストを導入する方向で検討しています。その導入までは、現在のリスニングテストと記述のテストで「話す」力を間接的に測る問題を出題します。

② 前期選抜を実施しない学校の後期選抜は、受検生が一般選考、得意活用型選考の枠を指定して志願するのですか。

受検生は、一般選考、得意活用型選考を選んで志願するのではなく、高校名を記入し学校に志願します。1回の受検で2種類の選考対象となります。

④ 中学校時代不登校であったり、学校へ行きづらかった生徒の対応は、どのようにしますか。

不登校生等であっても本人が有する資質や能力を多面的に評価するための説明書（調査書の付票）を追加し、これまで以上に配慮した選抜とします。

⑥ 2022年度選抜から新たな選抜制度を導入する理由は何ですか。

2019年度の中学1年生が高校1年生になる年から、高校において新学習指導要領が施行されます。学習指導要領に合わせて学びの改革を考えた時、2022年度選抜からの適用が適切と考えます。

5 実施までのスケジュール

時期	スケジュール
2019年度 (令和元年)	入学者選抜制度(第二次案)公表 ↓ 説明 ↓ 入学者選抜制度公表
	↓ 周知 ↓ 各校の3つの方針公表 (生徒募集方針等)
2020年度 (令和2年)	↓ 県の選抜要綱(案)公表 ↓ 各校の実施方法(案) 公表 前期選抜問題例
	↓ 周知 ↓ 県の選抜要綱 公表 各校の実施方法
2021年度 (令和3年)	↓ 新たな入学者選抜 実施

6 その他

- 前期選抜の実施校については、定着状況を踏まえ、現行の学校・学科での継続実施を原則とします。
- ICT機器等の活用については、その有効性と信頼性を確認の上、段階的に導入します。
- 隣接県から通学可能な生徒の受け入れについては、その方策について検討するとともに、関係各県との協議を併せて進めていきます。
- インフルエンザ罹患者への追検査については、現在別室受検等で対応している状況を鑑み、全国の動向を注視して検討を進めます。

【お問い合わせ】

長野県教育委員会事務局 高校教育課
 学びの改革支援課
 〒380-8570
 住所 長野県長野市大字南長野字幅下692-2
 電話 026-232-0111(代表) 内線4358
 026-235-7430(直通)
 FAX 026-235-7488
 E-mail koko@pref.nagano.lg.jp